

第3回全校研究会は、高等部の作業学習（木工班）授業研究会を行いました。この研究会では児童生徒が主体的に活動できる授業づくりと目標設定について話し合いました。

○授業づくりについて確認した大切なポイント

ポイント① 存分に活動できるための役割分担

作業学習では生徒に合った役割分担ができれば意欲や自信をもつことにつながり、主体的に活動できる授業になることを確認しました。

役割分担を決めるポイント

- * 役割の希望等を生徒から聞き、相談して決める。
- * できること、得意なことから役割をきめる。

意欲や自信に！

ポイント② 分かって動き、十分に活動できるような配置

教師の配置を作業全体の様子が見えるような配置にすることで、教師間の連携ができ、支援がさらに充実することを確認しました。

教師が作業全体が見えるような配置に！

- * 生徒の作業の様子が見える。
- * 教師間で連絡し合える、連携しやすい。

必要なときに必要な支援ができる（生徒の活動と安全面の充実）

ポイント③ 共に活動し、共感し合えるような配置

共に作業している仲間が見えるような配置で作業することで、主体性がさらに大きくなることを確認しました。（生徒一人一人が充実した活動であることが前提）

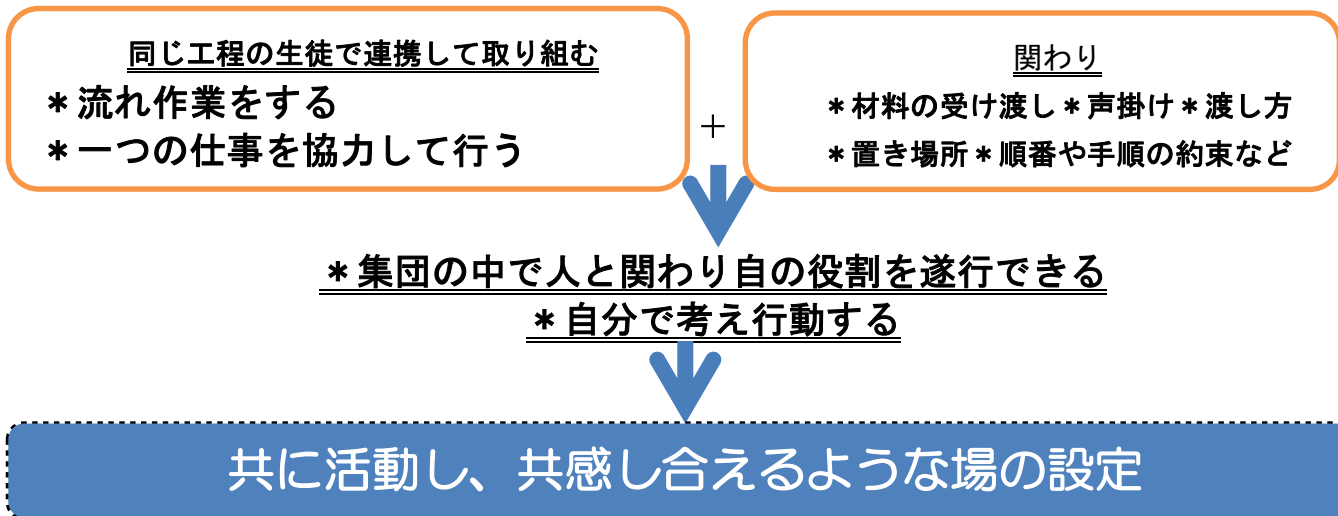
仲間が見える配置に

- * 「みんなで頑張ろう」
- * 「自分も頑張らなきゃ」
- * 「友達のようにやってみたい」

仲間意識が高まる・自分も工程の一部を担っていることを感じる・友達の役割に興味をもつ

ポイント④ 存分に活動できるような場の設定

同じ工程を担当する生徒で連携して（関わり）自分の役割を進めることでさらに主体的に活動するようになっていくことが確認されました。



○目標設定について

児童生徒一人一人の目標設定は・・・

本校では、児童生徒一人一人の目標設定は、次時の授業に向けて日常的に行っていることを確認しました。

その日の授業の片づけや次時の準備をするときに、・・・（設定する時期）
授業担当者で、・・・（メンバー）
その日の授業の様子を振り返り、・・・（基準）
次時はどのように活動してほしいか※1 ・・・（目標の内容）
話し合っている。・・・（方法）

児童生徒の目標の内容は・・・

日常的に話し合っている児童生徒一人一人に次時はどのように活動してほしいか※1話し合っていることを児童生徒一人一人の目標として表記するときに、単元の目標や本時の目標にどのように書き分けるか示す必要があることを確認した。

- * 生徒一人一人の目標設定は単元の目標の内容を受けて、年齢相応の目標であればいい。
 - ①目標の数は指定しない。
 - ②単元の日程計画に応じた目標を決める。（販売会がまだ1か月先か明日かで変わる。）
- * 生徒一人一人の日々の目標の示し方は2種類ある。
 - ①作業量（「20本切る」、「20箱つめる」、「20分を3回実施する」など）
 - ②作業の質（「丁寧に」、「正確に」、「効率よく」など）

研究会で話し合ったことを次の授業に生かしていきましょう。

木工班（高）、たんぼぼ学級（小）、クラフト班（中）の皆さん研究授業、ありがとうございました。